

# 福島第一原子力発電所の状況

2016年3月18日  
東京電力株式会社

## <1. 原子炉および原子炉格納容器の状況> (3/18 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	給水系：約 2.4 m <sup>3</sup> /h	14.7 °C	0.76 kPa g	A系： 0.00 vol%
		炉心スプレイ系：約 1.9 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.00 vol%
2号機	淡水 注入中	給水系：約 1.9 m <sup>3</sup> /h	19.6 °C	5.69 kPa g	A系： 0.04 vol%
		炉心スプレイ系：約 2.6 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.03 vol%
3号機	淡水 注入中	給水系：約 2.1 m <sup>3</sup> /h	17.4 °C	0.25 kPa g	A系： 0.03 vol%
		炉心スプレイ系：約 2.4 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.04 vol%

### <3号機>

・原子炉格納容器ガス管理システムについては、3/17 9:30 より特定原子力施設に係る実施計画「Ⅲ 特定原子炉施設の保安」第1編第32条第1項(保全作業を実施する場合)を適用し、フレキシブルチューブおよび樹脂製ホースの鋼管化作業を開始。同日、作業が終了したことから15:04に当該設備を起動。その後、当該設備の動作確認において異常がないこと、および短半減期核種の指示値に有意な変動がないことから、18:39に適用を解除。なお、当該設備の停止期間における関連監視パラメータについて異常は確認されていない。

## <2. 使用済燃料プール(SFP)の状況> (3/18 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	SFP 水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	14.6 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	24.3 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	21.5 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	10.2 °C

※ 各号機 SFP および原子炉ウェルヘイドラジンの注入を適宜実施。

## <3. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (3/18 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種 除去設備 (ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多 核種 除去設備
運転 状況	停止中*1	運転中*1	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2

\*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 \*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

## <4. その他>

- ・2014/6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。  
2016/2/9 陸側遮水壁の凍結に必要な工事が完了。
- ・2015/5/27～ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽の解体作業を開始
- ・2016/3/18 9:29 雑固体廃棄物焼却設備については、焼却試験などを行い、機能・性能を確認できたことから、当該設備の焼却運転を開始。なお、運転状態について異常のないことを確認。

#### 【1号機原子炉建屋カバー解体作業】

- 2015/5/15 6:45～5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストの値に有意な変動なし。
- 7/17 7:06～7/21 9:10 建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。
- 7/28 建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を開始。10/5 に全ての屋根パネルの取り外しが完了。

#### 【サブドレン他水処理施設の状況】

- 2015/9/3 サブドレン他水処理施設運用開始。
- 9/17～ 地下水のくみ上げを昼間のみの間欠運転から 24 時間連続運転に切り替え。
- 一時貯水タンクEの当社および第三者機関による分析結果[採取日 3/10]は同等の値であり、共に運用目標値を満足していることを確認したことから、3/17 10:15～15:42 に海洋への排水。排水量は 825m<sup>3</sup>。
- 一時貯水タンクFの当社および第三者機関による分析結果[採取日 3/12]は同等の値であり、共に運用目標値を満足していることを確認したことから、3/18 10:02 より海洋への排水を実施。
- 一時貯水タンクGの当社および第三者機関による分析結果[採取日 3/13]は同等の値であり、共に運用目標値を満足していることを確認したことから、3/19 に海洋への排水を実施予定。

#### 【地下水バイパスの状況】

- 地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。

#### 【1～3号機放水路の状況】

※1～3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム 137 の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。

＜最新のサンプリング実績＞

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

#### 【構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて】

＜K排水路排水口のサンプリング実績＞

- 3/17 採取した分析結果は、前回と比較して若干上昇しているが、過去の変動の範囲内であることを確認。引き続き、監視を継続していく。

#### 【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

＜H4・H6エリア周辺、福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績＞

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

#### 【タービン建屋東側の地下水調査／対策工事の実施状況】

＜地下水観測孔・海水サンプリング実績＞

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

#### 【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

- 3/1 に採取した地下貯水槽 No.1周辺の観測孔A11～17 の地下水を分析した結果、前回値(2/2 採取)の全ベータ放射能が ND(ND 値 22Bq/L)であったのに対し、最大で 200Bq/L に上昇していることを確認。なお、当該観測孔は3年前に地下貯水槽からの漏えいが確認された以降、NDだったが、全ベータ放射能の上昇が確認されたことから、漏えいの可能性も含めて調査を実施していく。

＜最新のサンプリング実績＞

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。引き続き監視を強化するとともに全ベータ放射能が上昇した原因を調査していく。

以上